



# ～もう一人の自分たち～

校長 島浦 昌乃

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成

(文責：教頭 土器 修)

## 第1回学校運営協議会の実施報告

学校運営協議会とは、学校が地域と目標を共有し、一体となって子どもの成長を支え育むコミュニティ・スクールに位置付けられた制度です。毎年、校長が4月に策定した学校経営要綱及び学校経営に関する方針等を宇美町立原田小学校区・宇美南中学校区学校運営協議会でご提案し、運営協議会委員の皆さまから承認をいただいています。

本年度第1回目を5月26日(木)に本校にて実施することができました。近年はコロナ禍で、紙面実施、南町民センターでの時短実施となっておりますが、本年度は、学校運営協議会委員の皆さまに授業の様子も参観していただきました。生徒が学習に取り組んでいる際の姿勢や態度について高評価をいただいています。また、黙働掃除をはじめとする校内環境整備、南中生のあいさつが大変すばらしく、これについても称賛のお言葉をいただきました。

本年度の運営協議会は、右表の9名の委員の皆さまと各学校の代表で構成されます。当日、校長から「自立・自律に向かう自己指導能力の育成」を重点目標に設定した理由や、その達成に向けて取り組む5つの方策について説明し、学校経営の方針等について承認をいただいたことをご報告いたします。ここでは、学校運営協議会委員の皆さまからいただいた主なご意見と評価(4段階による数値評価の平均値)を紹介します。本校では、学校運営協議会を学校関係者評価の場として位置付けている関係で、第2回、第3回の結果についても同様に本学校だよりにてお知らせします。



委員の皆さまによる授業参観の様子



学校経営方針に関する提案の様子  
令和4年度学校運営協議会委員

	氏名(敬称略)	所属・役職名
1	岡田 充弘(会長)	中村学園大学 准教授
2	赤松 義則(副会長)	校区コミュニティ会長
3	西川 博之	民生児童委員
4	森川 久美	民生児童委員
5	垂見 博幸	自治会長
6	手島 美知子	自治会長
7	鷹巣 大輔	地域住民
8	坂口 千絵	原田小学校 PTA 会長
9	幸野 貴子	宇美南中学校 PTA 会長

### <方策1【磨き合う集団づくり】について> **3. 25**

- ・不登校出現率が令和3年度に増加しているのが気になりました。コロナ禍が心に与えている影響があるのかと考えます。地域でも協力できることを考えます。
- ・Q-U、言語環境の整備について、具体的に何のために何をするのかを示してください。

### <方策2【学び合う集団づくり】について> **3. 25**

- ・学校生活満足度、学力の向上に向けた南中学びスタイルづくりに期待します。
- ・夢がはっきりともてた時、子どもたちが本気で始動すると思います。

### <方策3【組織の機能化】について> **3. 38**

- ・地域には、教職を退職された方等、優れた人材がおられます。地域人材活用の場を是非つくっていただきたいです。
- ・CS、PTA、小中の連携は大いに実践してほしいです。

### <方策4【教職員研修の充実】について> **3. 25**

- ・紙上の研修のみではなく、教室の中で実践を交えて学ぶ機会が多くもてるようお願いします。
- ・学力向上の取組の実効性を高めるためには、効果がある取組と効果がない取組を見極める分析、考察が必要だと思います。

### <方策5【教育環境の充実】について> **3. 38**

- ・率先垂範、師弟同行、共に学び合う環境づくりなどは是非推進してほしいと思いました。
- ・自分を大切にすると同時に、他者も大切に思う心の育成、行動の実践に向けた指導をお願いします。

### <指導の基盤「積極的な生徒指導」について> **3. 50**

- ・学力の向上に向けて自律的に学ぶ力に貢献すると思います。
- ・南中生が道ですれ違ったときにあいさつしてくれて気持ちが良いです。

### <全体について>

- ・社会に出て必要なのは、自信と知識、学力、判断力、言葉力、優雅さによって支えられる人間力です。己の力が生きる根源となることを徹底的に教えてほしいです。
- ・向学心が家庭環境に影響されるという統計があります。学校と家庭が連携する重要性について共有してほしいです。
- ・成果があるものは継続する。成果がないものは、①効果が出るまで時間を要するものなのか、②効果が出るよう手立てを改善する必要があるのか、ゼロベースの改訂ではなく、ロジカルシンキングでの分析と調節・調整が必要です。成果の要因、何が効果的だったかを分析し、全教員で共有してほしい。



いただいたご意見は、よりよい教育活動の充実に向けて活用させていただきます。貴重なご意見を賜り、学校運営協議会委員の皆さまには心よりお礼申し上げます。

## 読書習慣の確立に向けて ～宇美町読書ボランティア「ママーグース」による読み聞かせ～

本校では、読書の楽しさを実感させて読書に親しむ態度を育て、読書習慣を確立させることを目的に、地域ボランティアによる読み聞かせを実施しています。6月15日（水）～17日（金）に、宇美町読書ボランティア「ママーグース」の皆さまをお招きして、朝読書の時間を活用して各学年での読み聞かせを実施しました。

毎回、「ママーグース」の皆さまには、登場人物毎に声色を変えたり、語調に強弱をつけたり、趣向をこらしていただいています。今回は、1枚の折り紙で小道具を次々に作りながらの読み聞かせであったり、ウクライナ情勢と関連付けて「戦争」をテーマにした読み聞かせであったり、子どもたちの興味・関心を高める新たな工夫をしていただきました。子どもたちは、今世界で起きている問題に思いをはせ、本の楽しさを改めて実感するとともに、多様性を尊重する大切さについて考える機会となりました。

6月15日（水）には、宇美町立図書館長の中島康幸さまがゆうあい学級での読み聞かせの様子を視察に来校されました。視察の中で、本校の朝の落ち着いた雰囲気称赞され、朝読書をはじめとする本校読書活動推進の効果があらわれていることに感心されていました。



「戦争」を取り上げた読み聞かせの様子



ゆうあい読み聞かせでの図書館長視察の様子

## 部活動生の頑張りが輝く夏到来 ～部活動選手激励会の実施、糟屋区中体連の開催～

部活動生は、3年部活動生の最後の大会やコンクールに向けて、自ら感染症対策と熱中症対策を徹底しながら練習や制作に打ち込んできました。6月14日（火）には、南中生全員で部活動生を壮行する部活動選手激励会を実施しました。この中で、各部の3年生が力強く大会やコンクールにかける意気込みを述べ、続く、選手宣誓では、男子卓球部部長の増田凛人さんと吹奏楽部部長の阿比留萌々さんが南中生としての自覚と誇りを胸に、これまでの努力の成果を発揮することを誓いました。

6月15日（水）には、糟屋区中体連が幕をあげました。運動部選手たちは、激励会での誓いのおり、磨き上げた技と鍛え上げた体力を発揮し、各会場で南中生の清々しい頑張りと最後まであきらめない粘り強さが輝いています。

保護者の皆さまには、糟屋区中体連各大会の感染症対策、熱中症対策にご理解いただくとともに、大変暑い中応援いただき、誠にありがとうございます。部活動指導員、社会体育団体の皆さまには、南中生の自己実現に向けて熱心にご指導、ご尽力を賜り心より感謝申し上げます。本大会は明日、7月2日（土）に終了予定となっています。引き続き、皆さまには、明日試合予定の運動部選手、筑前地区大会に勝ち進んだ運動部選手にご支援くださいますようお願いいたします。

なお、吹奏楽部は7月26日（火）の福岡地区吹奏楽コンクールに出場します。美術部は、11月20日（日）の中文連発表会や各種コンクールに出品する作品を制作しているところです。



部活動選手宣誓の様子



糟屋区中体連等での3年運動部選手の様子

## 食育の推進 ～「自分でつくるお弁当の日」の実施～

本校では、宇美町教育振興計画を受けて年3回「自分でつくるお弁当の日」を教育課程に位置付け、実施しています。第1回目を6月7日（火）に実施しました。食育には「食事の重要性」「心身の健康」「食品を選択する能力」「感謝の心」「社会性」「食文化」の6つの視点があり、家庭と連携してそれらを身に付ける機会として実施しています。予め生徒1人1人が自分の力や状況に合わせて無理なくつくるように計画を立て、チャレンジしました。どのお弁当も創意工夫がなされ、昼食時はいつも以上に和やかな雰囲気に包まれました。生徒のお弁当は写真に撮り、各学年フロア等に掲示していますので、学校公開日等でお越しの際は、ご覧くださいますようお願いいたします。



(1年生)



(3年生)



(1年生)



(2年生)